

二世帯住宅のハテナがわかる。

Number  
02

# OTONA:Re

TIMES

祖母と親世帯の暮らしに  
寄り添う三世帯住宅



Number  
.. 02 ..

## 家族の繋がりを 感じるおうち

〔浦添市〕〔一戸建て〕

K邸

1階 店舗

2階 祖母 ご両親

3階 ご夫婦 お子様2人

...

Story

家づくりストーリー

### 父の介護負担を減らしたい

30年超、3階建ての実家の2階、3階部分を生かし、二世帯住宅にリフォームしたKさん一家。実家の1階は店舗で、そこがご主人の職場。2、3階に、ご両親とおばあさまが暮らしていました。

子世帯に当たるKさん一家は、実家近くのマンションで暮らしていました。

実家との行き来も頻繁でしたが、「母が介護を必要とする状態になり、祖母も高齢。二人をケアする父の負担を軽くしたくて、二世帯住宅へのリフォームを決めました」。「すぐに駆けつけられる」ことを重視して、夫妻が選んだのは「部分共有型」の二世帯住宅。2階に親世帯、3階にKさん一家と生活空間を分けながら、2階の玄関とLDKを共用し、既存の室内階段で行き来するプランが決まりました。

「父が全部任せる、と言ってくれたので、とても進めやすかったです」。

両世帯が使う2階部分は、落ち着いた色使いの内装にし、水回りの設備や個室の造りはお父さまの意見を取り入れて決めたそう。

また、普段から親族の出入りが多いため、大人数が集える造りを希望する一方で、「プライベートを守れるかが、一番の心配でした」と奥さま。

プライバシーへの配慮を重点的に工夫したおかげで、「家族仲良く暮らしながら、それぞれ好きなことができています」とご夫妻は話します。

### 「できること」を分担してやる

食事は両世帯そろって、2階のダイニングテーブルでとります。

「食事をすべて準備する心配がなくなったので安心。住み心地も最高です」と喜ぶお父さまですが、住み始めた当初は、遠慮もあったそう。

「一緒に暮らしていくうちに、お互いに何をすれば楽に過ごせるかが、暗黙の了解でわかってきました」。

朝食づくりはKさんの担当。夕食は奥さまを中心に、週1回はお父さまが用意します。配膳は高校生と中学生の息子たち。家族それぞれが「できること」をやるのが自然な流れに。「一緒に暮らしてから、私たちやおじいちゃんがない時は、息子たちがおばあちゃんのそばで、一緒に過ごしてくれるようになりました」。

年を重ねる変化を体感する教育的なメリットも大きい」と奥さま。

思いやりと優しさも育てられている。



## たくさんの来客にも 対応可能な広い空間がテーマ

親戚が多く、仏壇があるため、お盆やお正月には100人くらいが集まるという環境。「大人数でもくつろげる広い空間」がKさん夫妻の希望でした。2階LDKは天井板を取り払い、ダクトレールを使った間接照明でカッコいい雰囲気。「天井が高くなった分、空間が広く感じる」とお父さま。仏壇のある和室はコンパクトながら、段差なくリビング・ダイニングとつながり、一体的に活用できます。玄関も広々。収納扉を造作し、その中に既存の靴箱を入れ込むことで、コストを抑えながら収納量も確保しました。



## パブリックとプライベートの 両立を大切に空間

Kさん宅は、2階に親世帯、3階にKさん世帯と生活空間を分けながら、玄関とLDKを共用。既存の室内階段で行き来する「部分共有型」。1日の食事は基本的に、二世帯そろって一緒に楽しむなど、より同居に近いライフスタイルになっている。普段から親族の出入りがかなり多い家でもあるため、「プライベートをしっかり守ることができるのが、一番の心配でした」と奥さま。それぞれの世帯の暮らしやすさ、生活リズムの違いを考慮した居室の配置や動線計画で、お互い気兼ねなく、ゆっくりくつろげる環境を整えています。



### 1/ 3階にセカンドリビングを設置

2階で夕食をとった後、Kさん世帯は3階のリビングでくつろぐ。広さ8畳。ドリンクがすぐに取れるよう冷蔵庫スペースを設けている。

### 2/ 3階の出入りに扉と鍵を取り付け

不在時には施錠できる。戸があると「2階の音や気配が伝わりづくなるのでは」と心配したが、問題ナシ。引き戸には、以前住んでいたマンションの部屋番号をあしらった。

### 3/ 好きな時に趣味の時間を楽しめる導線

3階のベランダには、お父さまが楽しむプランター菜園がある。Kさん世帯の室内を通らず、廊下から勝手口を抜けてぐるりと回って菜園に行ける動線。

### 4/ 水回りの分離

お父さまと相談を重ね、使い勝手と生活リズムの違いなどを考慮して、トイレと洗面脱衣室、浴室は各階に用意した。



## 暮らしの楽しみと工夫



### 2階のキッチンは、カッコかわいく

普段から夫婦でキッチンに立つことが多く、お客さまの出入りもあるため2、3人でも作業がしやすいよう広めに、手持ちのナチュラルな家具に高さやデザインを合わせて、背面カウンターを造作しました。窓周りの棚は、DIYが趣味のKさんの手作り。



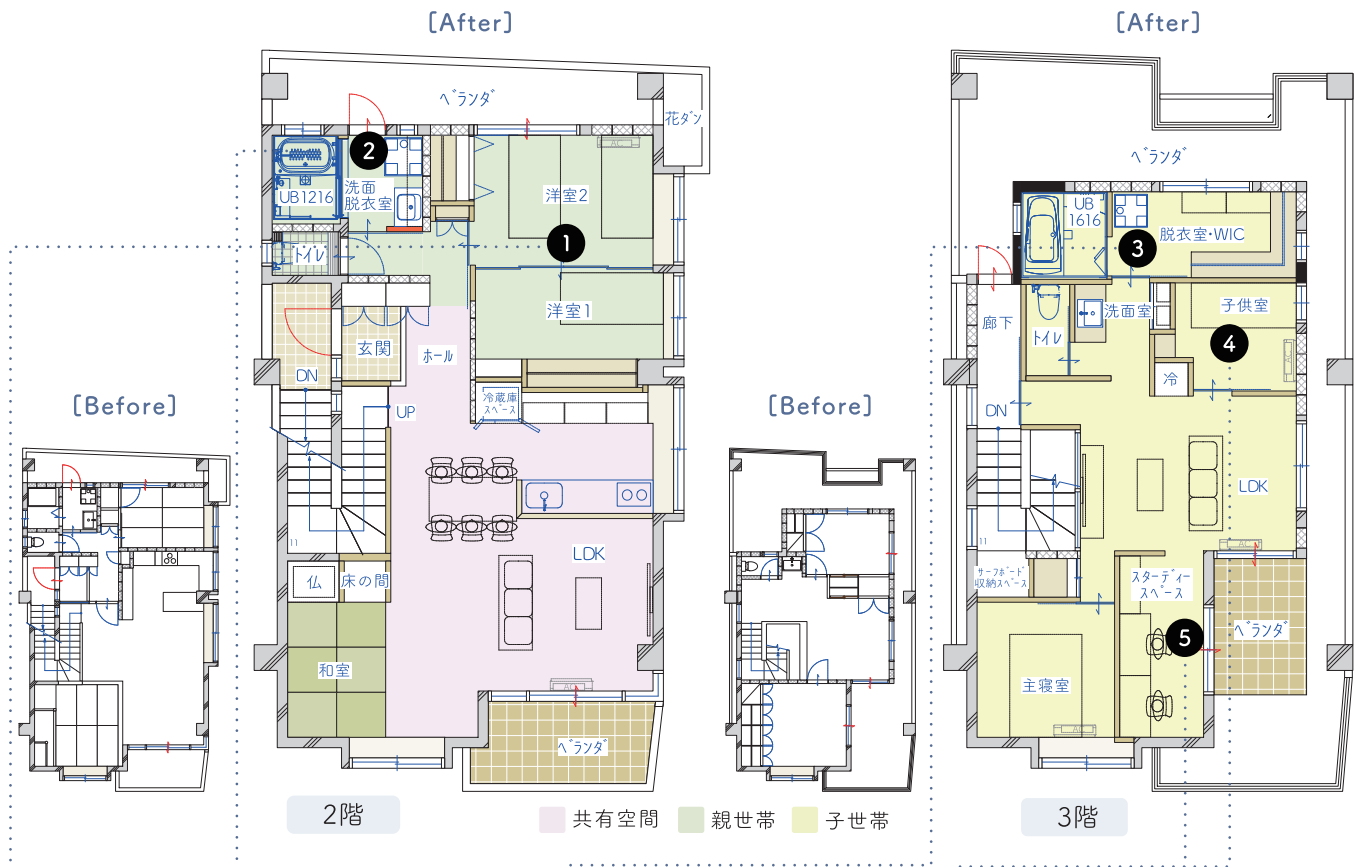
### ベランダはバーベキュー & 菜園スペース

Kさんと子どもたちで手作りしたテーブルとミニシンクを置いたベランダで、アウトドア気分を満喫。ミニコンロでつまみを作るのが毎日の楽しみで、家族でバーベキューも。お父さまの菜園スペースもあります。



### 部分共有型

建物種別	一戸建て
間取り	[2階]2LDK+1 [3階]2LD+1
施工箇所	2階、3階
施工面積	148.35㎡(約45坪)
築年数	40年
構造	鉄筋コンクリート造3階建て
工期	5カ月
施工費用	1,990万円
リフォーム内容	[2F]玄関ドア、間取り改修、水回り取替、電気・塗装・設備工事、内装コーディネート [3F]間取りフル改修、水回り取替、電気・塗装・設備工事、内装コーディネート



### ① 親世帯の寝室

2階の寝室は、引き戸で仕切る造り。写真左側がご両親、右側がおばあさまのお部屋。行き来しやすく、上部がオープンになっているため、音や気配もキャッチしやすい。

### ②③ 洗面台のデザインを統一

洗面台は、親世帯、子世帯ともに同じデザインやタイルを使って造作。高齢者でも使いやすい造りに配慮しながら、両世帯のつながりも演出。

### ④⑤ 子供室・スタディースペース

右写真)元々は、スタディースペース。ドアを取り付けて個室化できるようにしてあったため、引き渡し後、ドアを取り付け次男の部屋に。左写真)施行時に用意した子供室は、長男が個室として使用。

## 佐平ならではの こだわった家づくり

### ものを大切にしながら 未来へつなぐリノベーション



プランニング担当 山城 麻生

Kさまご家族は、二世帯住宅へのリノベーションにあたり、「以前住んでいたマンションで使っていた家具を使いたい」「趣味でDIYしたテーブルや棚が似合う家にしたい」というご希望がありました。そこで、持っていらっしゃるアイテム、色やサイズなどを教えてもらい、これから何を取り入れたいか、どういう暮らしをされたいかを聞き取り。既存で生かせるものも検討しながら、プランを作っていました。プライバシーを守るため、3階の出入り口の扉やセカンドリビングを提案。3階は一部増築して、クローゼットと家事室を一体化した脱衣室と浴室を配置。コンパクトで暮らしやすい家事動線を実現しました。また、廊下やスキマを活用して、趣味のための収納も充実させました。リフォーム成功のポイントは、たくさん話をして思いを伝えること。その中からできることを、私たちが一緒に考えていきます。

## お客様の声

### ペイント技術と施工レベルの高さが決め手に

#### 施主 K様

二世帯住宅のリフォームを手掛ける会社をネットで検索している中で、佐平建設のホームページを見つけ、掲載されていた物件が「素敵！」だと思いました。見学会に参加したとき、「ペイント仕上げの壁色が衝撃的で、ビフォー・アフターの施工レベルの高さが、依頼の決め手になりました」。

リノベーションというと、すべて造り替えるイメージでした。でも、間取りを大きく変えなくても雰囲気は変えられることが、佐平さんの施工でわかりました。

既存の部材の傷み具合をきちんと調べて、使えるものを生かして活用すれば、コストダウンにもつながる。物を大切に引き継ぐことができる、目からウロコのリノベーション。私たち以上に考えていろいろ提案してもらい、家と暮らしを考えるきっかけをもらいました。

#### 親世帯 お父様

30年余りに家を建てたとき、私自身も住宅雑誌などを見て、天井のデザインにもこだわりました。息子にもこだわりがあるだろうと、今回は任せることにしました。僕ら世代の発想にはない奇抜なデザインで、最初は驚きましたが、暮らしやすくなってバッチリ。天井が高くなった分、広く感じますし、家の景色が変わった。息子たちと佐平さんに任せてよかったです。

